

投稿規程

『情報文化学会誌』の発行は、学会定款第4条の目的を達成するため、情報文化学会の会員に研究発表の場を与えるためのものである。投稿規程は次のとおり。

1. 編集方針

- (1) なるべく多くの会員が論文掲載の機会を持てるようにする。
- (2) 会員が興味を持って読める論文を掲載する。
- (3) 論文は次の3種類とする。
 - (a) 研究論文(8頁)
 - (b) 研究報告(4頁)
 - (c) 研究資料
- (4) 論文の中には少なくとも「情報文化 (Information-Culture)」の学術的發展に資する考察があること。
- (5) 論文はそのオリジナリティ部分が未発表であること。

2. 投稿の手続き

- (1) 投稿者の1人は、本学会会員に限る。
- (2) 論文の送付において、オリジナル論文と共にコピー3部を添付する。投稿者は論文原稿のコピーを必ず保存し、オリジナルには必ず組版上の指定をし、コピーには文字フォント以外の指定はしない。
- (3) 論文の投稿時に、次のものを同封する。
 - (a) 投稿論文受領を確認する宛名付き返信用ハガキ(裏面には論文題名および著者名を明記のこと)。
 - (b) 所属、氏名(ふりがな)、連絡先住所、電話、FAX番号、e-mailアドレスを記載したもの、ただし、和文・英文両方。

3. 執筆の要領

3.1 原稿の形式と分量

- (1) 原稿はA4判の用紙を使用、横9ポ28字×50行×2段組とする。学会誌の論文レイアウトをご参照のうえ、刷り上りイメージにできるだけ近い状態で印刷して投稿する。
- (2) 研究論文は刷り上がり8頁以内を原則とする。8頁を超えた場合は、超過分の投稿料が必要になる。研究報告は4頁
- (3) 学生・院生による投稿は、指導教授または本学会一般会員との連名にするか、その推薦状のあることを原則とする。

3.2 タイトル部分

- ・表題：邦題と英題の両方を必ず記述する。表題の文字量は30字程度で、副題を記述する場合、主題を改行し、和文には全角カタカナのハイフン“ー”を副題の前後に、英文は半角英数のハイフン“-”を副題の前後に記す。
- ・著者名：日本語表記と英語表記を必ず記入。英語表記の

ファーストネームとラストネームの間は半角分のスペースをおき、ラストネームは全て大文字で記述する。

- ・所属：日本語表記と英語表記を必ず記す。
- ・要旨：論文の概要を和文500字、英文200語以内におさめる。

3.3 本文

本文には、「緒言」、「目的」、「方法」、「結果」、「考察(結論)」を含むものとする。謝辞、注、参考文献を含める場合は後述の書式に準拠するものとする。

文体は「である調」とし、句読点は「,」および「。」を用いる。

英文の書き方は原則として和文に準じるものとする。文法的に欠陥の多い文章や不明確な表現などが見受けられるので、英語を十分に推敲した上で送付すること。

3.3.1 見出し

「1. はじめに」から始めて、最後は「N. おわりに」で終わるものとする。

各節における節番号は半角数字を用い、数字を.(ピリオド)で区切る。節番号と節見出しの間は全角で1字空け、項目の場合は、番号の前を全角1字空ける。

区分例

- | | |
|----|------------------|
| 節 | 1. はじめに |
| 項目 | 1.1 ○○○ |
| | 1.1.1 ○○○ |
| 以下 | (1), (2), (3), … |
| | 1), 2), 3), … |

3.3.2 図・表・写真

・図表は原稿の中に貼りつける。それとは別に図や写真は、JPEGやBMPなどWordよりドット数の多いもので作成し、別紙として添付する(添付する図の大きさは1024×768pix以上が望ましい)。

・写真

資料写真は白黒とし、1論文3枚までとする。この枚数を超える場合は採録料金規程に従うものとする。

3.3.3 プログラム

白無地の用紙に黒で打ち出したプリントアウトを添付する。フォントはCourierを使用、サイズは8ポイントとする。

3.3.4 数式

数式については、文中に含めず、A41枚に打ち出したプ

リントアウト、もしくは画面キャプチャ (1024×768 ピクセル以上が望ましい) を添付する。

3.4 参考文献および注

- 参考文献 (Bibliography あるいは References) および注 (Notes) はそれぞれについて通し番号とし、
- 参考文献には [1], [2], … のような番号を付し、注には (1), (2), … の番号を語の右肩に付ける。
- 和文引用文献の著者名は、姓名を記述し、姓と名の間にはスペースをおかない。複数著者の場合は、著者間を全角読点 “,” で繋ぐ。
- 英文引用文献の著者名は、ファーストネームとラストネームを記述し、ファーストネームとラストネームの間に半角一文字分のスペースをおく。複数著者の場合は、著者間を半角カンマ “,” で繋ぐ。
- 著者名の次に、半角コロン “:” を記述し、文献名を記す。
- 文献名の次に、全角読点 “,” を記し、発行誌名を記述する。
- 発行誌名の次に、全角読点 “,” を記し、頁番号を記す。頁番号は、単数頁の場合、半角英数の “p.” を記述し、頁番号を記述する。複数頁の場合、半角英数の “pp.” を記述し、最初の頁番号と最後の頁番号を半角英数のハイフン “-” で繋ぐ。
- 頁番号の次に、半角一文字分のスペースをおき、発行年月を記述する。発行年月は、半角括弧 “()” で括り、発行年と月は半角英数のピリオド “.” で繋ぐ。
- 最後に半角英数のピリオド “.” を記す。
- 本文中では [1], [2], [3] として引用する。

- [1] Milnor, J: On isometries of inner product spaces, Invent. Math., vol. 8, pp. 83-79, (1969) .
- [2] Weil, A: Sur certains groupes d'opérateurs unitaires, Acta Math., vol. 11, pp. 143-211 (1964) .
- [3] Weil, A: Basic number theory, Springer, Berlin-Heiderberg-New York, 135p., (1967) .
- [4] 片方善治編『情報文化学ハンドブック』森北出版, pp20-21, (2001) .

4. 投稿論文の送付先と締め切り日

〒162-8644 東京都新宿区戸山 1-24-1
早稲田大学文学学術院 長田攻一研究室
各巻第 1 号への投稿：1 月 1 0 日 (消印有効)
各巻第 2 号への投稿：7 月 1 0 日 (消印有効)

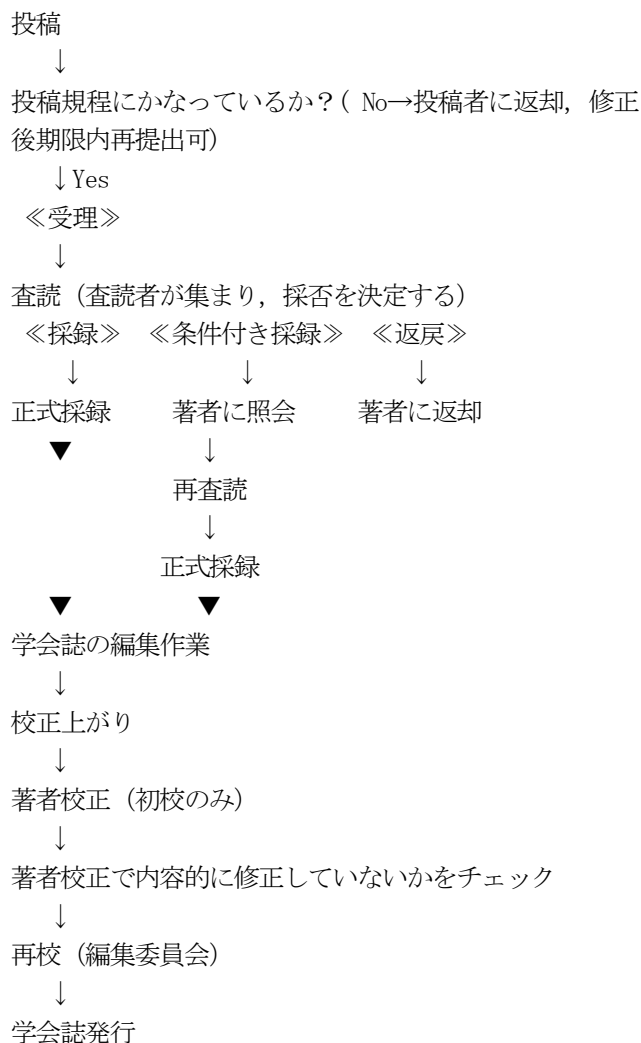
5. 論文の返却

投稿論文は返却しないので、著者はあらかじめそのコピーをとっておくこと。

6. 校正について

- (1) 著者校正は初校だけなので、遺漏なく校正する。
- (2) 校正の際には字句の添削・追加は避ける。
- (3) 校正刷りは原稿と共に速やかに返却する。
- (4) 校正の仕方は通常の校正見本を参照する。

7. 採録のシステム



8. 採録料金規程 (平成 12 年以降)

- (1) 8 頁を超過する場合 5000 円/頁
- (2) **論文中の写真**
3 枚まで無料
4 枚以上有料 1000 円/枚
- (3) 写植を新たに起こすもの (論文中で写真以外のもの)
3 枚まで無料
4 枚以上有料 1000 円/枚
- (4) 抜き刷りについて (一般会員は 50 部以上, 学生会員は 25 部以上の購入となります)
一般会員 30,000 円/50 部
学生会員 15,000 円/25 部
50 部あるいは 25 部を超過する場合は 50 部単位で 5,000 円とする。

送料は実費を著者負担・着払いとする。また採録料金を振り込む際に収入印紙を購入する必要がある場合、その代金は著者負担とする。

9. データによる論文投稿について

9.1 ファイルの形式

原則としてテキストファイル (Shift_JIS/改行コード CR+LF) とする。その他では、Microsoft Word 形式に対応していること。

9.2 文書作成時の注意

- (1) 英数字記号には1バイト (半角文字) を使用する。
- (2) 片仮名には2バイト漢字符号の文字 (全角文字) を使用する。
- (3) 外字、水平タブおよび機種に依存した文字 (①, II, 罫など) は使用しない。
- (4) 句点には「。」, 読点には「,」を使用する。
- (5) 改行 (CR+LF) は各行の行末に付けず、段落などの意味上の区切りに付ける。

9.3 データ投稿の際の注意

第1回目に投稿する際には、必ず印刷した論文原稿のみを「2. 投稿手続き」にしたがって送付する。そして、査読結果にしたがって修正された原稿について、印刷原稿とデジタル原稿の両方を送付する。